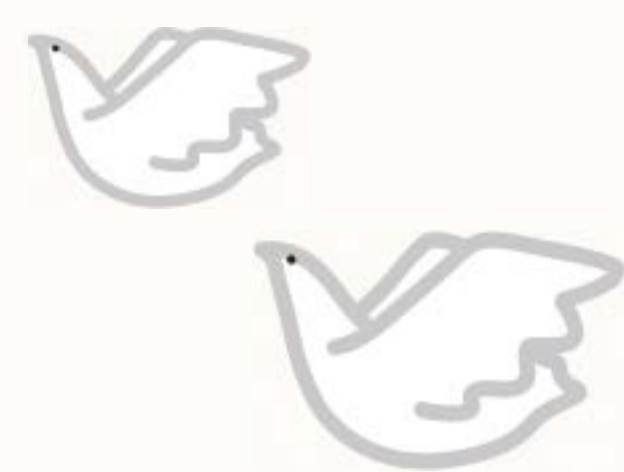


ならコープ CSRレポート 2019

2018年度
社会的活動報告書
ダイジェスト版
2018.4.1～2019.3.31



誰も取り残さない 安心してらせる地域づくりのために 「たすけあい・ささえあい・わかちあい」をめざして

ならコープの2018年度末の到達点は、組合員数27万5,434人と前年より1,285人増加し、供給高387億1,257万円となりました。小売業界全体が厳しい事業状況にある中、組合員の利用結集によって、ほぼ前年実績を維持できました。2018年度は、「安心してらせる地域づくりのために『たすけあい・ささえあい・わかちあい』」を掲げた第11次中期計画の最終年度、幅広い分野で取り組みをすすめました。皆さまからのご支援・ご協力に対し、深く感謝申し上げます。持続可能な社会を達成するための国際目標(SDGs)に、生協の仲間全体で貢献したいと7つの「コープSDGs行動宣言」を通常総代会に提案、確認いただきました。SDGsを広く知らせたいと学習活動・SDGsと関連づけた情報発信にも努めてまいりました。詳しくは、ならコープCSRレポート2019をご覧ください。ご感想・ご意見をお寄せいただければ幸いです。



代表理事 理事長
中野 素子

2019年度はならコープ創立45周年、第12次中期計画の始まりです。「誰も取り残さない 安心してらせる地域づくりのために『たすけあい・ささえあい・わかちあい』」をテーマに、消費者・市民が主人公となる社会をめざして、協同精神を地域に広げ、ふれあいのあるあたたかい地域コミュニティの創造に向けて、役割を発揮してまいります。みんなの力ですすめてまいりましょう。

2019年5月

ならコープとSDGs

日本生活協同組合連合会は、2018年6月に開催された、第68回日本生協連通常総会にて「コープSDGs行動宣言」を採択しました。2015年に国連で採択された17分野の目標・169のターゲットからなる「持続可能な開発目標(SDGs)」について、生協もその一端を担うべく、7つの取り組みを通じてその実現に貢献することを約束する行動宣言です。ならコープも同様に、「誰もがいつまでも笑顔でくらす社会」をめざして、持続可能な社会・自然共生社会・循環型社会の形成に取り組めます。

コープSDGs 行動宣言

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
世界を変えるための17の目標



私たち生協は、SDGs(持続可能な開発目標)に貢献することを約束(コミット)します。

持続可能な生産と消費のために、商品とくらしのあり方を見直していきます

地球温暖化対策を推進し、再生可能エネルギーを利用・普及します

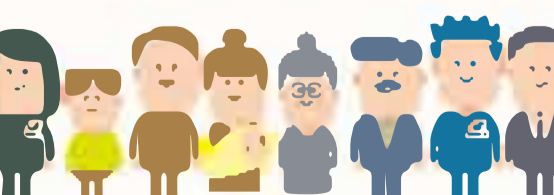
世界から飢餓や貧困をなくし、子どもたちを支援する活動を推進します

核兵器廃絶と世界平和の実現をめざす活動を推進します

ジェンダー平等(男女平等)と多様な人々が共生できる社会づくりを推進します

誰もが安心してくらし続けられる地域社会づくりに参加します

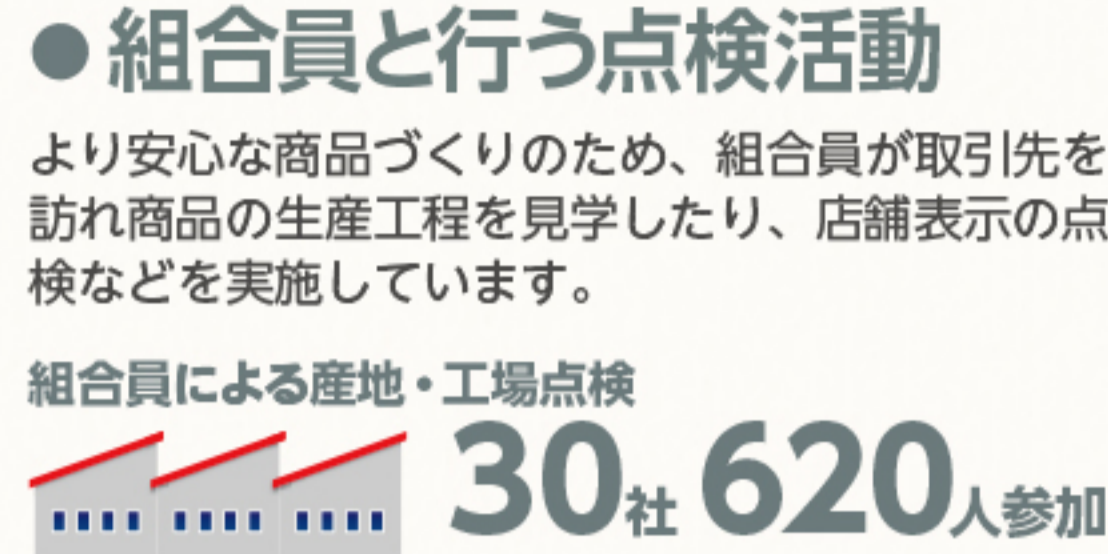
健康づくりの取り組みを広げ、福祉事業・助け合い活動を進めます



2018年度のおもな取り組み

1 食の安全

安心・安全で
おいしい商品をお届けします



● **「ならハサップ」の取り組み**

奈良県行政等と連携して、県全体の品質管理レベル向上をめざし、県内の食品事業者を対象に奈良県HACCP自主管理認証制度(通称:ならハサップ)の指定研修会を開催。2018年度は地場産品である三輪素麺の事業者も対象に行いました。

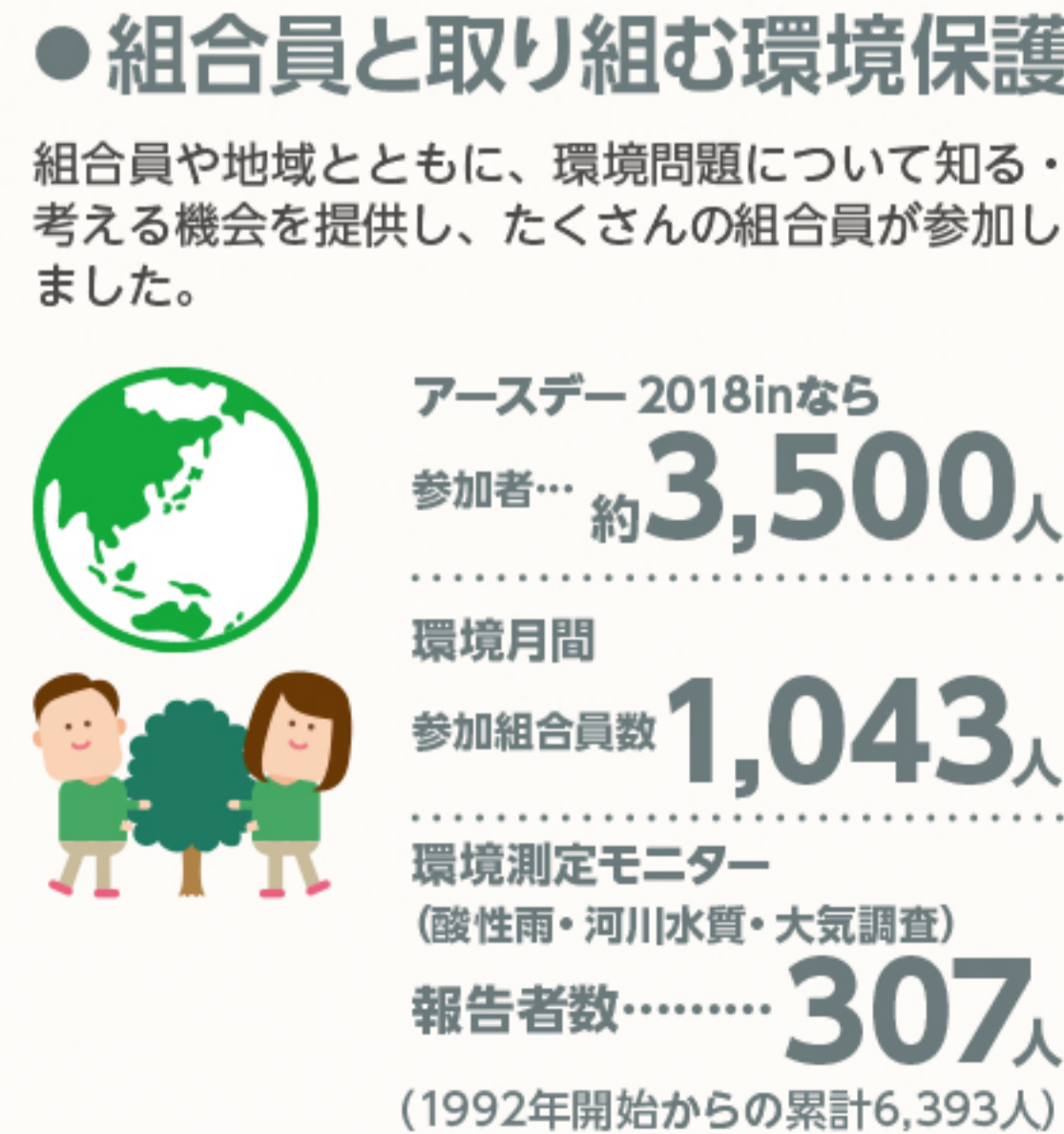
2 社会貢献

さまざまな応援・支援活動を行っています



3 環境保護

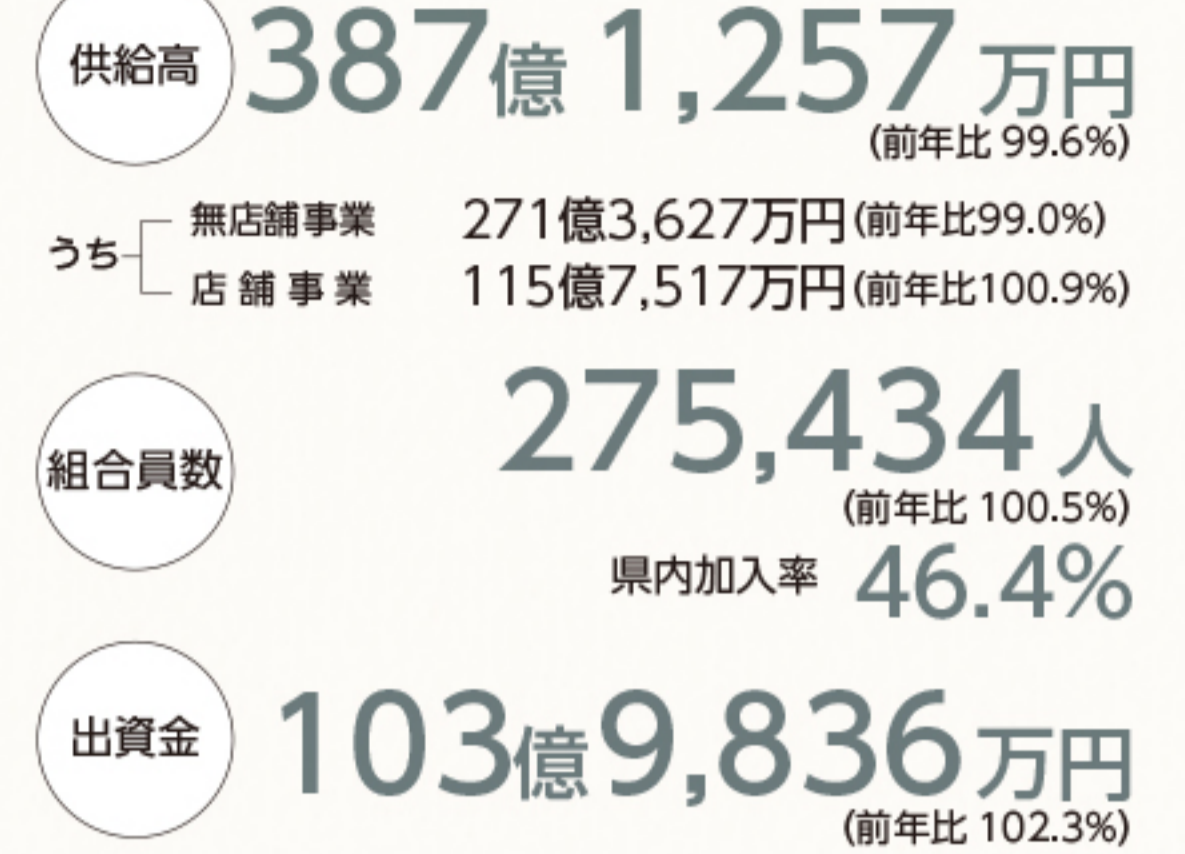
豊かな自然と文化を守ります



コープいまご・コープなんごう・コープ七条は最新の省エネ型冷蔵・冷凍ショーケースを導入。事業拡大がすすむ中、電気使用量を削減し、エネルギー効率が上がりましたが、供給される電力のCO₂排出係数が増加したことにより、CO₂総排出量が増加しました。

ならコープ概要 (2019.3.31 現在)

名称	市民生活協同組合ならコープ	
本部	〒630-8503 奈良市恋の窪一丁目2番2号	
創立総会	1974年7月25日	
職員数	1,663人(総合373人、専任61人、定時職員1,229人(内、障がい者雇用人数26人))	
施設数	本部1 支所(配送センター)4 コープふれあいセンター六条1 店舗11 吉野事業所1 田原本物流センター1	
子法人及び 関連法人	(株)奈良コープ産業 (株)ハートフルコープなら (株)ハートフルコープよしの (株)コープエナジーなら	(株)CWS (社福)協同福祉会 (一財)再エネ協同基金



TOPICS

2018年度ならコープSDGsへの取り組み

組合員のつどい

『誰もがいつまでも笑顔で
くらせる社会を目指して』
～ならコープとSDGs～を
開催しました

参加者 (164会場)..... **4,452**人

組合員のつどいは、ならコープの取り組みとSDGsとの関係について、組合員・職員ともにみんなで学ぶ機会として開催しました。SDGs17の目標のうち、目標12「つくる責任 つかう責任」に着目し、「エシカル消費」について取り上げ産直商品の利用を呼びかけました。職員は事前に「SDGs達成に向けて生協ができること」を学び、組合員へ説明するために資料を読み込んだり、自ら調べたりすることでさらに深くSDGsについて学ぶことができました。

参加者の感想

一人ひとりが実践することで
大きな力になることが
わかりました

今まで安い商品だけを
購入してきましたが、
これからは商品選びを
意識していきたいです



エシカル消費の推進

合言葉は
「誰かの笑顔に
つながるお買い物」

食べる“なら”大和商品

地産地消産品のブランドとして、JAならけんとならコープと一緒に取り組む県内農産物や、県内農産物を主な原料とした加工食品を案内しています。

レインフォレスト
アライアンス認証商品

持続可能な農業を営む
農園で育てられた商品です。



MSC認証商品

持続可能な漁業で
獲られた水産物です。



FSC認証商品

適切に管理された森林資源
で作られた商品 (パッケージ
含む) です。



エコマーク商品

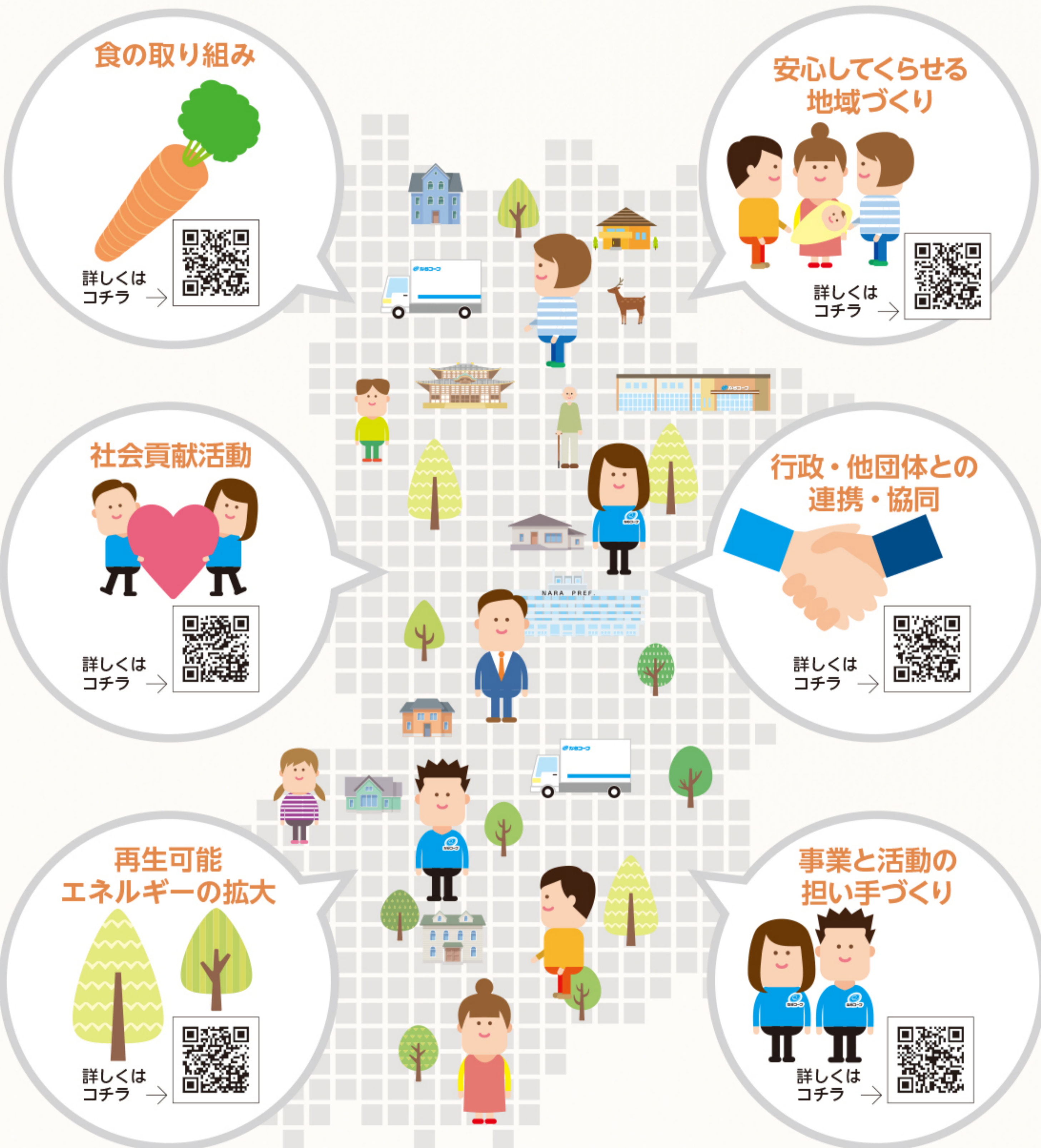
環境配慮素材の採用・ごみ
削減を積極的に行っている
商品です。



ならコープグループは事業と活動を通じて 組合員のくらしに貢献し続けます。

くらしに
安心・安全を

安心してくらせる地域づくり



コープふれあいセンター六条「こころテラス」

集会室利用回数…… 約**150**回
利用団体数…… 約**30**サークル・団体

2017年に閉店した「コープ六条」を活用し、「地域と協力が協力して作り出すさまざまな活動の拠点」として9月に開設。地域住民や組合員の活動の場、受取ハウスや夕食宅配の配達拠点、「フードバンク奈良」の活動拠点となっているほか、平和の継承活動も行っています。

コープあったか便移動店舗

1週間の停留所数…… **168**カ所
(前年度より+43)

支持が一層広がり、移動店舗は4号車が1月から運行開始。

「憲法カフェ」の開催

参加人数… **11**会場**220**人

憲法改定をめぐる問題について話し合い、一人ひとりが考え判断できる力をつけることを目的に、年間通して開催しました。

夕食宅配

毎日…… 約**4,200**食をお届け
2019年3月末現在
利用者…… 約**3,200**人
2019年3月末現在
試食会…… **76**回 (イベント含む)

組合員の声に応え6月から「おかず小コース」、10月に「メインたっぷりおかずコース」の案内をスタート。

コープたすけあいの会

18年度のべ利用件数…… **969**件

組合員同士が協力しあって有償でたすけあい活動を行っています。家事支援、産前産後・子育て支援などさまざまな場面で役立っています。

子育てひろば

参加のべ人数 (年間累計)
親子 **1,175**組
2,585人

4つの店舗とあすなら保育園内の計5カ所で子育てひろばを開催、親子同士やママ・パパ同士の交流の場を設けています。

便利なサービスの提供

より便利に、楽しく商品が利用できるように、サービスを拡大しました。

- ▲店舗リチャージ式プリペイドカード「ならっぴカード」の導入
- ▲スマートフォン向け注文アプリ「ニコリエ」をリリース (コープきんき開発)
- ▲商品案内書「COMET2」では、商品を知っていただく視点での紙面づくりをすすめました

ならコープをさらに良くする 事業と活動の担い手づくり



働きやすい職場の実現に向けて

- ・育児時短の取得を小学校6年生まで延長
- ・大学生アルバイトへの奨学金支援制度の実施
- ・一時パートナー制度の導入 (介護や育児等により、正規職員が一時的にパートタイムの雇用に移り、いつでも戻ることができる制度です)

職員の状況に応じて多様な働き方ができるよう、規程の改定や制度の充実をすすめました。

育児休業

育児休業取得者
女性…… **7**人
男性…… **1**人

ならコープはこれまでに“くるみん”マーク認定(2008年)、“奈良県社員・シャイン推進企業”表彰(2010年)、“なら女性活躍推進倶楽部”(2017年)会員認定を受けています。

新人事制度・新人事給与システムの導入

新人事制度を導入し、行動評価や教育制度の再構築など組織改革・職場風土改革に取り組みました。新制度に対応した人事給与システムも導入し、生産性向上を図りました。また、キャリアを考える場づくりとして、55歳・50歳・45歳・40歳と5歳刻みの研修を実施しました。

多様な人材の雇用

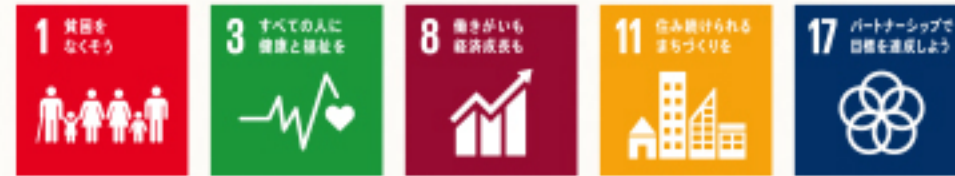
障がい者雇用率(ならコープ 株式会社なら)

4.05% (法定雇用率 2.2%)
2019年3月末現在

・ならコープ 2.98%
・特例子会社ならコープなら 112.5%

※「ならコープよしの」は就労継続支援A型事業所(障がい福祉サービス事業所)のため算出を除外。店舗部門の実務研修への参加や、リサイクル作業・夕食宅配の仕分けなど、ステップアップの実現とともに仕事の幅が広がっています。

第11次中期計画の最終年度である2018年度は、事業面と活動面で大きな改革・改善をすすめました。「事業と活動を通じて組合員のくらしに貢献し続ける」ことで、組合員のくらしに笑顔が溢れ、その笑顔が職員に元気をもたらし、一人ひとりの成長につながっていくものと私たちは考えます。ならコープの基本的な価値は、地域や社会を明るく豊かにしていくことです。組合員に利用し続けられる「商品」と「仕組み」づくりのために力を注ぎ、実践し続けます。



買物事業での連携

(一社)かわかみらいふ利用者数(年間)
..... **8,245人**
(前年比 170.2%)

「一般社団法人かわかみらいふ」による、川上村へのならコープの宅配(業務委託)は、西部地区へ配達エリアを拡大。夕食宅配のお届け実現も検討します。



▲「かわかみらいふ」はすべての村民が川上村でくらし続けられるしくみとして2016年に川上村によって設立されました。

子育て支援事業での連携

「つながる箱」プレゼント
申し込み件数..... **3,469件**

全国で初めて、奈良県とならコープの子育て支援の共催事業を始めました。この事業は子育て家族が地域とつながり孤立を防ぐため、赤ちゃんグッズを詰め合わせた「つながる箱」をお届けする取り組みです。



行政・企業との協定

2018年度新たに結んだ協定..... **7** (5行政・1企業と)

- ・「価値創造プロジェクト」に関する協定(18年4月)川上村
- ・「包括連携協定」(18年9月) 東京海上日動火災保険株式会社
- ・村づくりに関する「包括連携協定」(18年10月)下北山村
- ・「大和高田市見守りネットワーク事業」に関する協定(18年12月)大和高田市
- ・「住民の買い物支援事業に関する覚書」(19年1月)御所市
- ・「王寺町見守りねっと」事業に関する協定(「高齢者・子ども見守り協力事業者ネットワーク協定」、「認知症高齢者等SOSネットワーク協定」)(19年3月)王寺町

フードドライブ

「フードバンク奈良」への寄贈量 **2,285.6kg**

食品ロス削減などを目的に、これまでは廃棄してきたキャンセル品や余剰在庫、フードドライブで提供された常温商品を寄贈しました。また、コープふれあいセンター六条(こころテラス)を「フードバンク奈良」の活動拠点とするほか、ならコープのさまざまな施設でフードドライブを実施しています。



ユニセフ募金(指定募金・一般募金)
1,096,959円

被爆者救援募金.....
423,715円

震災復興支援

福島の子ども保養プロジェクトinなら
11家族30人 (うち小学生の子ども17人)が参加
福島の子どもとその家族をケアする取り組みです。2018年度は福島県での開催企画にも協力し、奈良県産の素麺100人分を提供し、持ち込み企画として「金魚すくい」を実施しました。



「桜ライン311」への参加者..... **20人**
陸前高田市の津波が到達した地点に桜の苗木を植樹し、再び大地震が発生した際、この地点より高台に避難することを後世に伝え続ける活動です。



平和活動

8月平和企画
「ヒロシマの旅」**18人**への参加 (組合員・職員含め)
現地を見て学ぶ機会として「2018年度ユニセフ・ミャンマースタディツアー」に組合員の代表を派遣し、「第36回沖縄戦跡・基地めぐり」へも参加しました。またコープふれあいセンター六条(こころテラス)では県内の被爆体験の資料を保管し、継承活動の拠点としました。

商品の利用を通じた応援
震災支援企画の利用点数
31,835点
(共同購入(班)・こまどり便・受取ハウス)
被災地に生産拠点を持つ企業の商品をカタログで案内し、店頭では宣伝販売に取り組みなど、両事業を通じて応援企画を行いました。



組合員からのお問い合わせ窓口

コールセンター受付件数..... **329,691件**
(前年比 94.9%)
コープベル受付件数..... **554件**
(前年比 97.5%)



コールセンターでは、組合員からの注文受け付けや、ご意見・ご要望など、さまざまなお申し出を聞き取っています。また、コープベルは、食をはじめとするならコープ全般の相談窓口として開設しています。

商品不具合に関するお申し出件数

受付数..... **1,582件**
(前年比 81.4%)



前年よりも受付数を削減することができました。また、増加傾向にある「異臭」のお申し出に関して、適切な対応ができるよう各事業所の職員や一部組合員理事・活動組合員を対象に「臭気トレーニング」を37会場・267名参加のもと実施しました。

産直商品普及の取り組み

供給高..... **22億853万円**
(前年比93.9%)
利用点数 **8,958,720点**
(前年比91.4%)
取り扱い品目..... **115品目**
(前年度より+3品目)
提携先..... **78団体**
(前年度より+3団体)

産直商品のラインナップに「佐賀れんこん」「おがっこえのき茸」、「越さんのほぐしめじ徳用」の3品目が新たに加わりました。



商品学習の取り組み

◆米づくり体験学習
登録者..... **11家族40人**

お米の生育過程の学習・体験ができる通年企画として種まきから稲刈りまで、全6回で実施しました。

◆エリア会活動「たべる、たいせつ(食育)」
各エリアでテーマと対象となる商品を決め、活動をすすめました。組合員一人ひとりが食について学び、生産と消費をつなぎ、くらしを向上させることをめざしました。



エネルギーの地産地消

ならコープでんき契約数..... **5,509件**
ならコープでんきFIT比率
(再生可能エネルギー比率) 2018年12月現在 **42%**
再生可能エネルギー
総発電量..... **5,146,415kWh**
発電設備容量..... **4,714kW**

6月にならコープ with ローソン真美ヶ丘店に太陽光発電設備(自家消費66kW)を設置しました。また、ならコープでんき契約者に対して、エアコン使用による熱中症予防などの呼びかけとわずかながらの応援として8月度電気料金を5%値引きしました。

また、「つくばね発電所」の見学会を4回実施し、合計で組合員86人が参加し、ならコープでんきの利用が地域を応援することにつながることを学びました。



つくばね発電所見学会の様子

再エネ・省エネをすすめる取り組み

再エネ協同基金への
寄付金額..... **4,000,000円**
《(一財)再エネ協同基金の活動》
助成額..... **2,311,000円**
再エネふれんず(賛助会員数) **440人**
学習講座参加人数
個人**450人** 団体**20人**
ならコープ事業所の太陽光発電設備の売電収益の一部を寄付し、2016年9月に基金を創設。基金を管理・運営する(一財)再エネ協同基金を設立し、同法人では地域や家庭での再エネや省エネを普及するために学習活動や助成事業をすすめています。再エネふれんずとは、その活動を応援する会員です。

**エネルギー(水力発電)を軸にした
地域振興の取り組み**

10月に下北山村と村づくりに関する「包括連携協定」を締結。下北山村の豊かな水資源を活用した「小又川発電所」の更新により生まれた収益を、村の地域振興につなげる取り組みがスタートしました。更新工事は2019年1月着工し、発電開始は2020年夏頃を予定しています。

